

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~

(報道各社への取材の御案内)



平成30年10月2日
福岡県うきは市



～江戸時代、つるはしだけで2kmのトンネルを掘り抜いた偉業～ 3年に1回、小学生が農業遺産を体感・・・袋野隧道探検

袋野隧道は江戸時代(1673年)に地元の大庄屋田代重栄、重仍親子が私財を投じ完成させた全長約2kmの灌漑用のトンネル。坑夫はツルハシのみを頼りに筑後川左岸「うその瀬」と呼ばれる岸壁から掘り進み始め、約70mおきに外部から横穴を掘り、石塊を出してはまた測量し直しながら、翌年の3月、トンネルを完遂。筑後川から取水した水は隧道を流れ、今も200町歩の田畑を潤す。『田畑潤す貫水に偉人の功 偲ばれて・・・』と地元山春小学校の校歌で歌い継がれる。偉功を地元小学生に伝えようと、有志が3年に1度、隧道の中を歩く探検を企画。



工事を営んだ田代重栄の肖像

■日時 10月7日(日)午後1時から

- 場所 うきは市浮羽町三春・袋野地区 田栄神社前(夜明ダム付近)
- 行事 大春の歴史たんけん「袋野隧道を歩こう」
- 問合せ 袋野隧道探検実行委員会(田辺敏文さん 090-7444-2061)
- 備考 現在、参加者の募集は行っていません。隧道内は水深が膝ほどあり、取材の際は汚れてもかまわないズボンと靴を御持参ください。

